中学生保護者との意見交換会

令和６年５月20日（月）、能美市役所 協議会室・委員会室にて

現在、中学校では休日の部活動を段階的に地域移行していく動きがあることをご存じでしょうか？

教育福祉常任委員会では「学校部活動の地域移行」について調査研究しており、市内の現状を把握するため、中学生保護者との意見交換会を開催しました。

部活動の地域移行とは

部活動の地域移行とは、これまで学校が主体となってきた部活動を、新たに地域が主体となって活動する「地域クラブ活動」に移行することです。各部活動の実態に応じて、部活動指導員を活用することや、部員が少ない学校では、複数の学校で合同練習を行うことなどの地域連携にも取り組みながら、地域移行を進めていきます。

休日の部活動の地域移行を進めるきっかけ

背景には少子化による生徒の減少や教員の働き方改革があります。また、専門外の教員が部活の顧問となった場合、教員の負担は大きく、生徒にとっても不安が大きいと考えられることから、そのような問題に対応するために、能美市では休日の部活動の地域移行を令和７年度末までに進めることとなっています。

大会や練習試合への引率について

主に中学校体育連盟主催の大会などの引率は、規定により顧問の教員が行うことになっていると聞いています。

平日の部活動の地域移行について

能美市は令和７年度末までに休日の地域移行の完了を目指しています。平日については、移行が可能な部活動において、その状況を見て判断されていきます。

部活動に打ち込む中学生

部活動ごとの意見

陸 上 部　土日は物見山陸上競技場に行くため、送迎の負担が大きい
吹奏楽部　平日と土日で指導者が変わると子どもたちが混乱する
野 球 部　合同チームとなった場合、子どもたちの心理面が心配
バスケ部　寺井にクラブがあるが、辰口や根上の子どもは通えるのか

部活動の地域移行を考える

保護者の思い

●地域移行を実施するのであれば、保護者に対してしっかりと具体的な説明を行ってほしい。

●地域移行が適している部活と適していない部活の見極めをしっかりと行ってほしい。

●休日の送迎を親が行うことになると負担が大きくなりそう。

●地域移行することによって、費用面での負担がこれまでよりも増えるのでは。

●本格的な競技クラブだけではなく、気軽にスポーツを楽しめるようなクラブがあるとうれしい。

●地域移行した場合、指導者は生徒の学校での様子を把握できないため、勉強との両立や心のケアなどのサポートを考えてほしい。

●子ども一人ひとりに寄り添い、一部の子どもだけを優遇するのではなく、平等に指導してほしい。

●学校生活と部活動を切り離して考えるのではなく、子どもたちの様子を学校側に報告し、先生と指導者が連携した体制を整えてほしい。

●コーチの都合や子どもたちの移動で部活動の開始時刻が遅くなることで、夕食の時間が遅れたり、勉強時間の確保が難しくなりそう。

●子どもに怪我や体調変化等が起きた場合の責任の所在を明らかにしてほしい。

参加者アンケートから

・見えていないことがまだ多いですが、話を聞いてくれる機会があって良かったです。

・地域移行のことをほとんどわかっていない保護者の方もいたので、説明をきちんとして周知しないと、理解が得られないと思います。

・議員の皆さんが私たちが不安に思っている事を聞いて下さる姿を見て、イメージが変わりました。

・今後、保護者と議会が一つとなって地域を盛り上げられる取り組みが何かできたら嬉しいです。

意見交換会を終えて

部活動の地域移行にあたっては、学校、指導者、親の連携が極めて大切だと感じた。また、何よりも子どもたちを第一に考え、議会としても、健全で持続可能な部活動の地域移行に向けた実効性のある政策提言を行っていきたい。

今回の意見交換会の模様や参加者へのインタビューが YouTube で視聴できます。
ぜひご覧ください！「能美市議会 YouTube」で検索！